農村叙景滑稽いろは歌

農村叙景　滑稽いろは歌

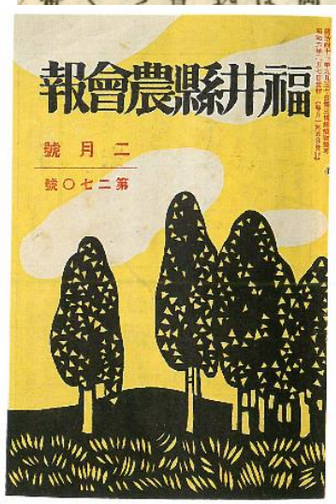
昭和雪坊主作

いつ迄か今日の米安續くらん
賣るに賣られぬ心細さよ
ろく〳〵に寢られぬ夜あり税金と
肥料の代を思ひ出すとき
はる立ちて日比谷の喧嘩賬はへり
おらが代議士どうして居るか
に百万買上すれどその代り
煽動はよせと農相語る
ほんのりと顔の色さへ薄櫻
米の安値をしばし忘れて
へつただけ良いのに負擔輕減を
けなすは君も民政黨か
さころでは誰も相手にしないから
町へ出かけて金の心配
ちり〳〵に賭博の一座逃れたり
燒き判のある下駄を殘して
りくつのみ上手になりし悴かな
繩一筋もぬはれぬくせに
ぬす人の都合はよろし村の道
街燈消して眞つ暗なれば
るすに非ず借金とりの怖ろしく

今しばらくは戸に錠をさす
をや達は此の寒さにも藁仕事
子は中學でスキーの選手
わが村は無事太平の御代の春
米安のみが玉にきずとや
かほどまで舊正月の寂しさを
味はひしこと今までになし
よの中は見渡す限り不景氣と
流感訴訟喧嘩やけ酒
たれか恨むこささへ出來ぬ此景氣
梅咲く春を待つばかりなり
れん帶の責任保証大驚き
みな尻が來る無謀頼母子
そん會は敬老會と間違へて
百三歳の村長を出す
つれならば呑ませるものを時節柄
呑ませで返す村の人足
れなしにて米を預けた其報ひ
米屋逐電俺れは泣き顔
なわむしろ作る仕事の忙しさに
けさの寒さも忘れけるかな
らい年は富民協會の一等を
さらにやならぬと饒言さへ言ふ
むりをして貸した報ひは総會の
貸借表にあらはれにけり

うきことの猶此の上に積りては
押しつぶさるゝものとこそ知れ
ゐのちさへあれば結構あれこれと
愚痴並べても末二十年
のまれずはせめて夜伽の酒にても
たらふく呑めと押しかけるかな
おい〳〵に表はれ出づる化の皮
君の仕事ももう此れまでか
くみ合ひの人氣段々惡くなり
理事や監事も居るに居られず
やとはれることのみ思ふ青年よ
麥にこやしの一杯もやれ
まんと着た後ろ姿は良けれ共
首もまはらぬ借金の主
けむり立つ圍爐りの鍋の蓋とれば
大根十きれあはれと云ふらん
ふ景氣はどこにあるかと碧海の

①



1931（昭和 6）『福井県農会報』

解 説

1929 年（昭和 4）10 月、ニューヨーク株式取引所の株価暴落を契機に発生した**世界恐慌**の影響が翌 1930 年（昭和 5）に日本に波及しました。同年 1 月 11 日に断行された金解禁による不況とあわせて、日本経済は深刻な影響を受けています（**昭和恐慌**）。

米価は 1920 年代、植民地米の移入により低迷を続けていましたが、昭和恐慌により一層下落しました。繭価も、アメリカへの生糸輸出の激減を受けて暴落しています。さらに 1931 年（昭和 6）は東北・北海道を中心に大凶作に見舞われました。東北地方を中心に農民の困窮は激しく（農業恐慌）、欠食児童や女子の身売りが続出しました。

福井とのかかわり

福井県の養蚕戸数は 1930 年（昭和 5）に約 2 万戸を数え、全農家の 3 割近くが養蚕業に携わっていました。同年、雪害を免れ養蚕農家が増産を目指していたところへ、繭価の暴落に見舞われます。多くの農産物価格も下落し、秋に入って米価も下落しました。

翌 1931 年（昭和 6）にかけての米価は白米 1 升がたばこ 1 箱とほぼ同じ値段でした。山村では木炭の価格低落、漁村では漁獲不振と魚価低落に苦しめられました。その結果、山村や漁村では小学校の欠食・欠席児童が増え続け、その対策として 1932 年末から学校給食が開始されています。上級学校への進学者も激減し、大野中学校や大野高等女学校では 1932 年度募集に志願者 1 名という事態に陥りました。

こうしたなか、農村救済を目的にした諸政策が打ち出されました。その 1 つに農村救済土木事業があります。大規模な公共土木工事を行い、貧窮する農民に労賃収入の機会を与えて農村経済の活性化をはかろうという施策でした。しかしこの時期、福井県の嶺北地方では人絹織物業が急速に発展し、農村労働力の多くは機業工場に吸収されて、農民がすすんで土木事業に就労する状況にはありませんでした。

資料の注目ポイント

農村叙景滑稽いろは歌は、「いろは」の 47 文字を順に冠して、恐慌期の農村をとりまく社会情勢をうたった戯れ歌です。1931 年（昭和 6）の福井県農会報（2 月号）に投稿されています。作者「昭和雪坊主」については不明ですが、当時の農村・農家が抱える課題や矛盾を見事にうたいあげています。

例えば「やとはれることのみ思ふ青年よ、麦にこやしの一杯もやれ」の句（①）は、都市の俸給労働者にあこがれ、農業を嫌う青年層の意識がよく表れています。

関連資料

名称	概要	備考
『福井県農会報』第 270 号	1931 年（昭和 6）刊行、当館蔵 行政刊行物 40000481	当館にて閲覧可能
米の生産量･価額の変遷（グラフ）	1926（昭和元）～1940（昭和 15）の福井県における米の生産量･価額の変遷を示すグラフ。県統計白書より作成。	図説福井県史　近代 19　昭和恐慌と農村　掲載 （https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/07/zusetsu/zusetsuframe.html）
繭の生産量･価額の変遷（グラフ）	1926（昭和元）～1940（昭和 15）の福井県における繭の生産量･価額の変遷を示すグラフ。県統計白書より作成。	

参考文献

・『国史大辞典』　吉川弘文館
・『福井県史』　通史編 6　近現代二　第一章　昭和恐慌から準戦時体制へ　第二節　農業恐慌と農村社会　一　農業恐慌の波紋
・『図説福井県史』　近代 19　昭和恐慌と農村
・『日本史（ＡＢ共通）　教授資料　研究編』山川出版社